

あなたの街のお医者さん

連携医療機関紹介 ふくおか内科クリニック



▲福岡 一貴院長

患者さんに優しいクリニック

ふくおか内科クリニックは、平針駅から徒歩4分と便利な場所にあります。コロナ渦に開院したこともあり、設計の段階から空調システムや発熱患者さん用の入り口の設置等感染対策に配慮しており、安心して通院できるクリニックです。



院長の福岡一貴先生は、平成16年(2004年)に岐阜大学医学部をご卒業後、名古屋記念病院での初期研修を経て、名古屋第一赤十字病院、江南厚生病院、名大病院、掖済会病院などの医療機関で糖尿病内分泌内科専門医として研鑽を積みました。先生は、愛知県立大学外国語学部在学中に医師を目指す決心をされたそうです。現在副院長の奥様も上智大学を卒業後、一般企業にお勤めの中、医師を目指されたのだと。お二人が出会ったのは医学部受験の真最中だったそうで、志同じく医学以外の世界を経験して医師を目指したお二人、その頃から気が合ったことは言うまでも無いでしょう。現在はお二人の経験を活かし、医師2名体制で診療を行っておられます。

糖尿病の専門医です

一つの分野の専門だけを突き詰めるよりも、幅広く勉強したかったという先生。「医療は専門性が高まるとともに診療の分野が限定され、時に患者さん本人よりも疾患を診ることに専念しがちです。私は患者さんと接する中で、様々な疾患を診られる医師になりたかったのです」。そんな先生は初期研修の2年間を名古屋記念病院で過ごされました。「当時の記念病院では、内科研修を総合内科で行っていました。とても教育熱心な先生が多く、消化器・呼吸器・感染症など様々な疾患を、指導医と一緒に担当し、1日数回のカンファレンスで症例のディスカッションを丁寧に行いながら、研修医自身が指導医とともに治療方針を決めて行く方針をとっていました。当時このような研修が出来る病院はほとんど無く、全国から医学生や研修医が勉強に訪れていました」。総合内科での研修中、たくさんの疾患に糖尿病が関わっていることに気づいたそうです。「糖尿病をきっかけに、血管や代謝の病気、感染症などいろいろな病気が引き起こされます。その結果、糖尿病の治療には、必然的に総合的な診療能力が必要になります。研修中に血糖コントロールがとても難しい特殊な糖尿病の患者さんを担当したのですが、そのときの経験も大変勉強になりました。専門性を持つつ、総合的に臨床に関わっていくために、糖尿病・内分泌の専門医を目指すようになったのです」。

患者さんへのメッセージ

ふくおか内科クリニックの一番の自慢は、スタッフのチームワークが良いことだそうです。

「看護師や栄養士、検査技師、医療事務など、おのののスタッフが患者さんに接して気づいたことを、私や副院長にフィードバックしてくれます。今日はこの調子が悪そうだと、他の病院でこんな治療が始まったとか、内容は様々ですが、実際それで糖尿病以外の病気が悪くなっていることが分かったり、医師には話しづらいことをスタッフに伝えて下さったことで、隠れていた病気が見つかったりしたこともあります」。生活習慣病というのは、その名の通り生活習慣を切り替えていくのが治療の根本。診療日当日に検査結果が出て、それまで取り組んできた治療の成果がすぐに確認できる場合と、当日には結果が分からず、次の受診時に検査結果を伝えられるのとでは、治療のモチベーションが変わってくると先生。「取り組んできた食事・運動療法や新しい薬の効果がその場で実感できるということを大切にして、ヘモグロビンA1cやコレステロール値などは当日結果が分かるようにしています。糖尿病患者さんは心筋梗塞や感染症など様々な病気を併発します。いくつかの病気は急性期に素早く対応しなければ重症化してしまうこともあるので、それを見逃さないためにも即日結果が出ることが重要です。CTやMRI等の精密検査が必要なときや、救急対応や入院治療が必要な場合は、名古屋記念病院のような基幹病院にご紹介させていただきますので、安心してご来院下さい」。

今後も専門性を活かし様々な疾患に対応できるクリニックとしてのご活躍を期待しています。

DATA

【TEL】 052-804-1011
【住所】 愛知県日進市赤池町屋下308-1
【診療科目】 ●糖尿病内科 ●甲状腺内科
●一般内科
【診療時間】 午前／09:00～12:30
午後／15:30～19:00

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	×	○	○	★	×
午 後	○	○	×	○	○	×	×

★…9:00～13:00

